



高生の丘

北九州市立高中生中学校
 学校通信 7月号 No.3
 発行責任者 校長 木村 康晴
 TEL 881-3276
 平成24年7月17日発行

3年生 修学旅行で、防災・減災学習

北淡震災記念公園で、語り部に学ぶ



性を伝えている副館長の米山さんに、生々しい震災体験と、防災、減災のためのお話を震災の語り部として語っていただきました。

生徒たちが生まれる以前に起こった震災ですが、高速道路が斜めに倒れている写真や、転落寸前のバスの写真を見て、また、米山さんの生の体験談を聞き、生徒たちは言葉を失っていました。大変貴重な体験であり、修学旅行ならではの、活かした学習になりました。

東日本大震災において、長年の防災教育の成果が出た「石巻の奇跡」が有名になり、全国的に防災教育の重要性が叫ばれています。本校においても、安全・安心のための防災教育に、一層取り組んでいきます。

「阪神・淡路大震災」から今年で16年。北淡震災記念公園では、活断層として動いた「野島断層」を地震研究の貴重な資料として屋内保存しています。今年の修学旅行では、「阪神・淡路大震災」の教訓と防災意識の重要性を伝えている副館長の米山さんに、生々しい震災体験と、防災、減災のためのお話を震災の語り部として語っていただきました。



しました。ただ、法隆寺見学時は日差しが厳しく、蒸し暑く、時間も押して、歴史を味わう余裕があまりなかったのが残念でした。



【生徒の感想文より】

西本願寺は、門からしてとても大きく、中に入ると門より大きな寺が建っていて、一目見た瞬間から迫力で圧倒されてしまいそうなくらいすごかったです。寺の中では周りの人は静かで、目の前にあった仏像を見ていました。〇〇君もさすがに寺に入った時から静かになって、小声でしゃべっていました。ずっとここにいたいと思うぐらい、何か居心地がよかったです。 <3年2組 M 君 抜粋>

■ 保育所や介護施設から、感謝の声！

2年生 介護保育体験学習の取組

介護福祉体験学習 5月31日(木)～6月1日(金)
 保育体験学習 6月4日(月)～6月5日(火)

命を大切にする心、高齢者の方への敬老の精神、人を思いやる優しい心を育むため、地域の介護施設、保育施設にご協力いただき、4日間、2年生全員で取り組みました。



介護施設では、高齢者の方々から、「本当に楽しい時間を過ごささせていただきました。ぜひまた来てほしい」との声が大変多く寄せられました。保育所でも、「保育園児の中で、どこに中学生がいるのかわからないほど溶け込んでいる」との感想も。各施設からの予想以上の好反応に、学校も大喜びです。生徒たちがこの活動を心で受け止め、真剣に取り組んでくれたおかげです。この日のために事前学習で行った折り紙や歌の練習も、大いに成果を上げました。



体験は大切。体験に勝る学習はありません。しかし、体験のみで終わらないよう、学年集会で事後の発表会も行われました。心で感じたことが、実際の生活で生きることを願っています。

■ 歴史の重みに感動。



法隆寺は、建築後1300年、木造建築としては世界最古。法隆寺から生徒が学ぶことは、まず日本木造建築技術の素晴らしさです。

なぜ法隆寺は木造建築なのに地震や台風で倒れることなく1300年ももつのでしょうか？古代の建築家は木の性質をよく見抜き、全体として統一をとる技術

に長けていたと言われています。現在の建築家には失われた技術とも、言われています。ガイドさんのこの話を聞いて、先人の知識・技術と、歴史の重みに感動